<ul> <li>語を使う機会が多く、授業で学んだ語学や男につけるための、様々な工夫をしています。</li> <li>来のビジネスチャンスも広がります。国際的す。ぜひ、長崎短大で、英語を学び、異文化教育の責務</li> <li>英語ライティング&amp;グラマーI・II 英語異文化理解演習 国際海外文化事情 I・II・II イン 卒業研究</li> <li>確かな語学力と文化理解力に基づいたコーコミュニケーション力とグローカルな視点に専門的知識や技能を適切に用いて実践的教育方法</li> </ul>	ーマパークでも有名な 文化学習が直接役に	を広げ、人生を豊かにしてくれると同時に、第 国内でも今後ますます国際化が進んでいきま な感覚を身につけてください。 英語検定 I・Ⅱ・Ⅲ ギャップイヤー事前指導 ・Ⅳ ギャップイヤー事後指導 特たせる。 責極的に交流させる。 ませる。
教育理念(学生へのメッセージ) 佐世保は多くの外国人が暮らし、また、テ 語を使う機会が多く、授業で学んだ語学や男 につけるための、様々な工夫をしています。 来のビジネスチャンスも広がります。国際的 す。ぜひ、長崎短大で、英語を学び、異文化 教育の責務 英語ライティング&グラマーI・II 英語 異文化理解演習 国際 海外文化事情 I・II・II イン 卒業研究 確かな語学力と文化理解力に基づいたコー コミュニケーション力とグローカルな視点に 専門的知識や技能を適切に用いて実践的 教育方法 様々な教授法で語学を教えるが、英語を語 ミュニケーションがとれることで、自分をいか ベーションを高め、自ら学びたいという気持ち 他者評価 学生からの評価は、概ね良好である。さら	ーマパークでも有名な 文化学習が直接役に	国際的な観光の街です。日頃の生活でもまた。 こ立ちます。授業では、実践的な英語力を見た広げ、人生を豊かにしてくれると同時に、料理内でも今後ますます国際化が進んでいきまた。 感覚を身につけてください。 英語検定Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ギャップイヤー事前指導 ・Ⅳ ギャップイヤー事後指導 またせる。 責極的に交流させる。 目ませる。
佐世保は多くの外国人が暮らし、また、テ 語を使う機会が多く、授業で学んだ語学や男 につけるための、様々な工夫をしています。 来のビジネスチャンスも広がります。国際的 す。ぜひ、長崎短大で、英語を学び、異文化 教育の責務 英語ライティング&グラマーI・II 英語 異文化理解演習 国際 海外文化事情 I・II・II イン 卒業研究 確かな語学力と文化理解力に基づいたコ コミュニケーション力とグローカルな視点に 専門的知識や技能を適切に用いて実践的 教育方法 様々な教授法で語学を教えるが、英語を記 ミュニケーションがとれることで、自分をいか ベーションを高め、自ら学びたいという気持ち 他者評価 学生からの評価は、概ね良好である。さら	文化学習が直接役に 主は勿論の事、日本国 理解を深め、国際的な 演習 II ・時事研究 マーンシップ I・II・II はって多様な人々と利 な課題の解決に取組 話せることで、実社会で こ豊かにしてくれるか	こ立ちます。授業では、実践的な英語力を見 を広げ、人生を豊かにしてくれると同時に、第 国内でも今後ますます国際化が進んでいきま な感覚を身につけてください。 英語検定Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ギャップイヤー事前指導 ・Ⅳ ギャップイヤー事後指導 特たせる。 責極的に交流させる。 ませる。
語を使う機会が多く、授業で学んだ語学や男 につけるための、様々な工夫をしています。 来のビジネスチャンスも広がります。国際的 す。ぜひ、長崎短大で、英語を学び、異文化 教育の責務 英語ライティング&グラマーI・II 英語 異文化理解演習 国際 海外文化事情 I・II・II イン 卒業研究 確かな語学力と文化理解力に基づいたコ コミュニケーション力とグローカルな視点に 専門的知識や技能を適切に用いて実践的 教育方法 様々な教授法で語学を教えるが、英語を語 ミュニケーションがとれることで、自分をいか ベーションを高め、自ら学びたいという気持ち 他者評価 学生からの評価は、概ね良好である。さら	文化学習が直接役に 主は勿論の事、日本国 理解を深め、国際的な 演習 II ・時事研究 マーンシップ I・II・II はって多様な人々と利 な課題の解決に取組 話せることで、実社会で こ豊かにしてくれるか	こ立ちます。授業では、実践的な英語力を見 を広げ、人生を豊かにしてくれると同時に、第 国内でも今後ますます国際化が進んでいきま な感覚を身につけてください。 英語検定Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ギャップイヤー事前指導 ・Ⅳ ギャップイヤー事後指導 特たせる。 責極的に交流させる。 ませる。
につけるための、様々な工夫をしています。 来のビジネスチャンスも広がります。国際的 す。ぜひ、長崎短大で、英語を学び、異文化 教育の責務 英語ライティング&グラマーI・II 英語 異文化理解演習 国際 海外文化事情 I・II・II イン 卒業研究 確かな語学力と文化理解力に基づいたコ コミュニケーション力とグローカルな視点に 専門的知識や技能を適切に用いて実践的 教育方法 様々な教授法で語学を教えるが、英語を語 ミュニケーションがとれることで、自分をいか ベーションを高め、自ら学びたいという気持ち 他者評価 学生からの評価は、概ね良好である。さら	喜葉は、自分の世界を には勿論の事、日本国 理解を深め、国際的な 演習 II ・時事研究 コーンシップ I・II・II にユニケーション力を持 よって多様な人々と称 な課題の解決に取組 話せることで、実社会で に豊かにしてくれるか	を広げ、人生を豊かにしてくれると同時に、第 国内でも今後ますます国際化が進んでいきま な感覚を身につけてください。 英語検定 I・Ⅱ・Ⅲ ギャップイヤー事前指導 ・Ⅳ ギャップイヤー事後指導 特たせる。 責極的に交流させる。 ませる。
<ul> <li>来のビジネスチャンスも広がります。国際的す。ぜひ、長崎短大で、英語を学び、異文化</li> <li>教育の責務</li> <li>英語ライティング&amp;グラマーI・II 英語</li> <li>異文化理解演習 国際</li> <li>海外文化事情I・II・II イン</li> <li>卒業研究</li> <li>確かな語学力と文化理解力に基づいたココミュニケーション力とグローカルな視点に</li> <li>専門的知識や技能を適切に用いて実践的</li> <li>教育方法</li> <li>様々な教授法で語学を教えるが、英語を語</li> <li>ミュニケーションがとれることで、自分をいか、</li> <li>ベーションを高め、自ら学びたいという気持ち</li> <li>他者評価</li> <li>学生からの評価は、概ね良好である。さら</li> </ul>	には勿論の事、日本国 里解を深め、国際的な 演習 II ・時事研究 コーンシップ I・I・II はって多様な人々と利 な課題の解決に取組 話せることで、実社会で こ豊かにしてくれるか	国内でも今後ますます国際化が進んでいきま 京感覚を身につけてください。 英語検定 I・Ⅱ・Ⅲ ギャップイヤー事前指導 ・Ⅳ ギャップイヤー事後指導 特たせる。 責極的に交流させる。 ませる。
す。ぜひ、長崎短大で、英語を学び、異文化 教育の責務 英語ライティング&グラマーI・I 英語 異文化理解演習 国際 海外文化事情I・I・I・I イン 卒業研究 確かな語学力と文化理解力に基づいたコー コミュニケーション力とグローカルな視点に 専門的知識や技能を適切に用いて実践的 教育方法 様々な教授法で語学を教えるが、英語を語 ミュニケーションがとれることで、自分をいか ベーションを高め、自ら学びたいという気持ち 他者評価 学生からの評価は、概ね良好である。さら	里解を深め、国際的な 演習Ⅱ ・時事研究 マーンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ シュニケーション力を持 よって多様な人々と利 な課題の解決に取組 話せることで、実社会で こ豊かにしてくれるか	惑感覚を身につけてください。     英語検定 I・Ⅱ・Ⅲ     ギャップイヤー事前指導     ギャップイヤー事後指導     ギャップイヤー事後指導     ちたせる。     責極的に交流させる。     ませる。     ませる。
<ul> <li>教育の責務</li> <li>英語ライティング&amp;グラマーI・I 英語</li> <li>異文化理解演習 国際</li> <li>海外文化事情I・II・II イン</li> <li>卒業研究</li> <li>確かな語学力と文化理解力に基づいたコーコミュニケーション力とグローカルな視点に</li> <li>専門的知識や技能を適切に用いて実践的</li> <li>教育方法</li> <li>様々な教授法で語学を教えるが、英語を語</li> <li>ミュニケーションがとれることで、自分をいか、</li> <li>ベーションを高め、自ら学びたいという気持ち</li> <li>他者評価</li> <li>学生からの評価は、概ね良好である。さら</li> </ul>	演習 Ⅱ ・時事研究 ターンシップ Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ シュニケーションカを持 よって多様な人々と利 な課題の解決に取組 話せることで、実社会で こ豊かにしてくれるか	英語検定 I・Ⅱ・Ⅲ ギャップイヤー事前指導 ・Ⅳ ギャップイヤー事後指導 特たせる。 責極的に交流させる。 ませる。
<ul> <li>英語ライティング&amp;グラマーI・I 英語</li> <li>異文化理解演習 国際</li> <li>海外文化事情 I・II・II イン</li> <li>卒業研究</li> <li>確かな語学力と文化理解力に基づいたココミュニケーション力とグローカルな視点に</li> <li>専門的知識や技能を適切に用いて実践的</li> <li>教育方法</li> <li>様々な教授法で語学を教えるが、英語を語</li> <li>ミュニケーションがとれることで、自分をいか、</li> <li>ベーションを高め、自ら学びたいという気持ち</li> <li>他者評価</li> <li>学生からの評価は、概ね良好である。さら</li> </ul>	・時事研究 マーンシップ I・I・II ニュニケーションカを持 よって多様な人々と利 な課題の解決に取組 話せることで、実社会で こ豊かにしてくれるか	ギャップイヤー事前指導 ・Ⅳ ギャップイヤー事後指導 特たせる。 責極的に交流させる。 ませる。
<ul> <li>異文化理解演習</li> <li>海外文化事情 I・I・II・II</li> <li>イン</li> <li>卒業研究</li> <li>確かな語学力と文化理解力に基づいたコーコミュニケーション力とグローカルな視点に</li> <li>専門的知識や技能を適切に用いて実践的</li> <li>教育方法</li> <li>様々な教授法で語学を教えるが、英語を認 ミュニケーションがとれることで、自分をいか ベーションを高め、自ら学びたいという気持ち</li> <li>他者評価</li> <li>学生からの評価は、概ね良好である。さら</li> </ul>	・時事研究 マーンシップ I・I・II ニュニケーションカを持 よって多様な人々と利 な課題の解決に取組 話せることで、実社会で こ豊かにしてくれるか	ギャップイヤー事前指導 ・Ⅳ ギャップイヤー事後指導 特たせる。 責極的に交流させる。 ませる。
海外文化事情 I・I・II イン 卒業研究 確かな語学力と文化理解力に基づいたコ コミュニケーション力とグローカルな視点に 専門的知識や技能を適切に用いて実践的 教育方法 様々な教授法で語学を教えるが、英語を記 ミュニケーションがとれることで、自分をいか ベーションを高め、自ら学びたいという気持ち 他者評価 学生からの評価は、概ね良好である。さら	マーンシップ I・I・II ニュニケーション力を持 よって多様な人々と利 な課題の解決に取組 話せることで、実社会で こ豊かにしてくれるか	<ul> <li>・Ⅳ ギャップイヤー事後指導</li> <li>特たせる。</li> <li>責極的に交流させる。</li> <li>ませる。</li> <li>でどのように役に立ち、また、多様な人々と</li> </ul>
卒業研究 確かな語学力と文化理解力に基づいたコ コミュニケーション力とグローカルな視点に 専門的知識や技能を適切に用いて実践的 教育方法 様々な教授法で語学を教えるが、英語を語 ミュニケーションがとれることで、自分をいか ベーションを高め、自ら学びたいという気持ち 他者評価 学生からの評価は、概ね良好である。さら	ュニケーションカを持 よって多様な人々と称 な課題の解決に取組 せることで、実社会で こ豊かにしてくれるか	きたせる。 責極的に交流させる。 ませる。 でどのように役に立ち、また、多様な人々と:
確かな語学力と文化理解力に基づいたコ コミュニケーション力とグローカルな視点に 専門的知識や技能を適切に用いて実践的 教育方法 様々な教授法で語学を教えるが、英語を語 ミュニケーションがとれることで、自分をいか ベーションを高め、自ら学びたいという気持ち 他者評価 学生からの評価は、概ね良好である。さら	よって多様な人々と和な課題の解決に取組 な課題の解決に取組 話せることで、実社会で こ豊かにしてくれるか	責極的に交流させる。 ませる。 でどのように役に立ち、また、多様な人々と:
コミュニケーションカとグローカルな視点に 専門的知識や技能を適切に用いて実践的 教育方法 様々な教授法で語学を教えるが、英語を記 ミュニケーションがとれることで、自分をいか ベーションを高め、自ら学びたいという気持ち 他者評価 学生からの評価は、概ね良好である。さら	よって多様な人々と和な課題の解決に取組 な課題の解決に取組 話せることで、実社会で こ豊かにしてくれるか	責極的に交流させる。 ませる。 でどのように役に立ち、また、多様な人々と:
専門的知識や技能を適切に用いて実践的 教育方法 様々な教授法で語学を教えるが、英語を ミュニケーションがとれることで、自分をいか ベーションを高め、自ら学びたいという気持ち 他者評価 学生からの評価は、概ね良好である。さら	な課題の解決に取組 せることで、実社会で こ豊かにしてくれるか	ませる。 でどのように役に立ち、また、多様な人々と:
教育方法 様々な教授法で語学を教えるが、英語を語 ミュニケーションがとれることで、自分をいか ベーションを高め、自ら学びたいという気持ち 他者評価 学生からの評価は、概ね良好である。さら	せることで、実社会で こ豊かにしてくれるか	でどのように役に立ち、また、多様な人々と:
様々な教授法で語学を教えるが、英語を ミュニケーションがとれることで、自分をいか ベーションを高め、自ら学びたいという気持ち 他者評価 学生からの評価は、概ね良好である。さら	こ豊かにしてくれるか	
ミュニケーションがとれることで、自分をいか ベーションを高め、自ら学びたいという気持ち 他者評価 学生からの評価は、概ね良好である。さら	こ豊かにしてくれるか	
ベーションを高め、自ら学びたいという気持ち 他者評価 学生からの評価は、概ね良好である。さら		
他者評価 学生からの評価は、概ね良好である。 さら		
学生からの評価は、概ね良好である。さら		
	「実践的か英語を効」	里的に教授できろように努力していきたい
学生の学修成果		
多くの学生が留学やインターンシップ時に	英語でコミュニケージ	ションがある程度できるようになっている。
今後の目標(短期・長期)		
効果的な教授法の研究は勿論のこと、留	<sup>≱</sup> やインターンシップ <sup>7</sup>	などの学外学修も効果的に取り入れ、より
践的な語学力と異文化理解力を身につけさ	けたい。	
専門分野(学問分野/専攻)		
	音声学	
	-	
	分析」「インターンシッ	ップを活用したキャリア教育の推進」「短大!

所属学会
------

大学英語教育	育学会	外国語教育メディア学会	異文化コミュニケーション学会
学歴·学位·免討	F資格		
平成2年3月	青山学院大学卒業	(英米文学)	
平成2年3月	中学校および高等	学校教員免許状(英語)取得	
平成7年3月	University of Victor	ria (M.A. in Linguistics) カナタ	ダ・国立ビクトリア大学大学院修士課程(言語
	学科)卒業		

職歴		
平成12年4月	長崎短期大学英語科 助教授(平成16年3月まで)	
平成16年4月	長崎短期大学英語科(現 国際コミュニケーション学科)	教授(現在に至る)
平成18年4月	長崎短期大学英語科 教学部長 学科長	
平成23年4月	長崎短期大学 学長補佐 入試募集広報委員長	
平成26年4月	長崎短期大学 グローバル人材育成推進室・室長	
平成27年9月	Awesome Sasebo! 推進室センター長	
平成28年4月	国交·地連委員会 副委員長	
平成29年4月	国交·地連委員会 委員長	
平成30年4月	国際コミュニケーション学科 学科長	
教育研究業績	著書、学術論文等の名称	発行所、発表雑誌等又は発表学会等
平成22年3月	生活体験型短期海外研修の取組みと、その効果の検	長崎短期大学研究紀要、第22号
	証	pp.67–75
平成23年3月	長崎短期大学・英語科 キャリア教育への取組み	長崎短期大学研究紀要、第23号 pp.29−42
平成24年3月	長崎短期大学・英語科 キャリア教育への取組み (2)	長崎短期大学研究紀要 第24号 pp.1−8
平成25年3月	(新)国際コミュニケーション学科が目指すもの	長崎短期大学研究紀要、第25号 pp.93−100
平成26年3月	国際コミュニケーション学科でのグローバル人材養成教 育の試み	長崎短期大額研究紀要 第26号 pp.1−6
平成27年3月	短大におけるグローバルマインド育成	長崎短期大学研究紀要 第27号 pp.107-113
平成28年3月	国際コミュニケーション学科・海外留学が持たらす効果 の検証	長崎短期大額研究紀要 第28号 pp.127-133
平成29年3月	国際コミュニケーション学科・グローバルリーダーシップ育	長崎短期大額研究紀要、第29号
	成の試み	pp.69-78
平成30年3月	国際コミュニケーション学科に於けるグローバルリーダー	長崎短期大学研究紀要、第 30 号、
	シッププログラム開発	pp.17-28
平成30年3月	実践グローバルリーダーシップ研修 in ミャンマー	長崎短期大学研究紀要、第 31 号、
	: 活躍する社会人となるために	pp.
社会における活動等(学会・研究会等の委員・役員/講演会/社会貢献/表彰/他)		
平成20年6月	佐世保市国際交流委員会 副委員長	
平成23年7月	佐世保市外国人観光客ウエルカム協議会 委員	
平成26年4月	長崎県日韓親善協会事務局長	
令和元年8月	日本インターンシップ学会 槙本記念賞(秀逸なるインター	-ンシップ) 受賞

Name Position Affiliation (Department, etc.) Muta Yoshinobu Professor **Global Communication Department** Education philosophy (Message to students) Sasebo is an international tourism town where many foreigners live and is famous for its theme parks. There are many opportunities to use English in everyday life, and the language and cross-cultural learning learned in class are directly useful. In class, we have various ideas to acquire practical English skills. Language expands your world and enriches your life, while expanding future business opportunities. Internationally, of course, internationalization will continue in Japan. At Nagasaki Junior College, learn English, deepen your understanding of different cultures, and gain an international feel. Educational responsibilities English Exercise II English test I • II • III English Writing & Grammar I / II Gap Year Prior Guidance Cross-cultural understanding International and current research exercise Overseas cultural circumstances I, Internship I / II / III / IV Gap Year Subsequent Guidance II. III graduation research Provide communication skills based on solid language skills and cultural understanding. Actively interact with diverse people through communication skills and a local perspective. Appropriate use of specialized knowledge and skills to help solve practical problems. Education method Teaching languages with various teaching methods, but with the experience of how you can speak English, how useful it is in the real world, and how you can communicate with a variety of people. Increase motivation for language learning and make you want to learn. Evaluation by others Evaluation from students is generally good. I would like to make an effort to teach practical English effectively. Student achievements Many students can communicate in English to some extent when studying abroad or internships. Future goals (short term and long term) I want to acquire effective practical language skills and cross-cultural comprehension skills, as well as studying effective teaching methods, as well as effectively taking off-campus studies such as study abroad and internships. Specialized field (academic field / major) Linguistics **English phonetics** Research theme (research area) "Comparative analysis of English / Japanese acoustic phonetics" "Promotion of career education utilizing internship" "Global mind-building in junior college" Academic societies University English Education Foreign Language Education Media Intercultural Communication Society Society Society

Faculty introduction (Educational achievements)

	ckground • degree • license					
March 1990	Graduated from Aoyama Gakuin University (English and American literature)					
March 1990	Junior high school and high school teacher license (English)					
March 1995	Graduated from University of Victoria (M.A. in Linguistics	3)				
Work history						
April 2000	Nagasaki Junior College English Department Associate Professor (until March 2004)					
April 2004	Nagasaki Junior College English Department (no	ow Department of Internationa				
	Communication) Professor (to date)					
April 2006	Nagasaki Junior College English Department Dean, Dean	Nagasaki Junior College English Department Dean, Dean				
April 2011	Nagasaki Junior College Assistant to President					
April 2014	Nagasaki Junior College Global Human Resource Development Office					
September	Awesome Sasebo! Director, Promotion Office					
2015						
April 2016	Vice-chairman, National Relations and Land Liaison Com	mittee				
April 2017	Chairman of the Diplomatic Relations Committee					
April 2018	Department of International Communication					
Educational res	search achievements					
	Names of books, academic papers, etc. Publicat	tion office, publication magazine, etc				
March 2010	Efforts for life-experience-type short-term overseas					
	training and verification of its effects	College, No.22pp.67–75				
March 2011	Nagasaki Junior College / English Course Career	Bulletin of Nagasaki Junio				
	Education Initiatives	College, No.23pp.29-42				
March 2012	Nagasaki Junior College / English Course Career	Bulletin of Nagasaki Junio				
	Education Initiatives (2)	College No.24 pp.1–8				
March 2013	(New) Objectives of the Department of International					
	Communication	College, 25th pp.93–100				
March 2014	Trial of Global Human Resource Development Education	Bulletin of Nagasaki Short-tern				
Warut 2014	at the Department of International Communication	Research Program No.26 pp.1-6				
March 2015	Developing a global mindset at a junior college	Bulletin of Nagasaki Junio				
	Developing a global minuset at a junior conege	College No.27 pp.107–113				
March 2016	Verification of the effects of the Department of	Bulletin of Nagasaki Short-tern				
	International Communication and studying abroad	Research Program No.28				
		pp.127–133				
March 2017	Department of International Communication / Global	Bulletin of Nagasaki Short-Tern				
	Leadership Development Trial	Research Project, No. 29				
		pp.69-78				
March 2018	Global leadership program development in the	Bulletin of Nagasaki Junio				
	Department of International Communication	College, No. 30, pp.17-28				
March 2018	Practical global leadership training in Myanmar	Bulletin of Nagasaki Junio				
	r raction grown rouder strip training in myannia	Bandan of Magabani Outilo				

Activities in society (Members / Executive Committee / Executives / Social Contribution / Awards / Others)		
June 2008	Sasebo City International Exchange Committee Vice-Chairmanship	
July 2011	Member of Sasebo City Foreign Tourist Welcome Council	
April 2014	Secretary General, Nagasaki Prefecture Japan-Korea Friendship Association	
August 2019	Received the Japan Internship Society Enomoto Memorial Award (excellent internship)	